

## 意見交換会の主な意見（南小校区）

No.	分類	内容	回答
1	ごみ減量について	既に分別をきちんと行っている市民は、資源の分別を徹底してもごみの減量につながらないと思う。	いつも分別にご協力いただきありがとうございます。市が行っているごみの組成調査では、ごみの中に含まれる資源の割合を調査していますが、もえるごみ袋の中には34.3%の資源がごみとして排出されていることから、しっかりと分別していただくことでごみ減量につながると考えています。
2	ごみ減量について	ごみ袋を増額して、今より15%のごみを減量したら、どのようなメリットがあるのか。	組成調査の結果によると、平均的なごみ袋（約3kg）の中には、重量比で約44%の生ごみと約34%の資源が混ざっていました。生ごみは、80%は水分なので、水切りのひと絞りで約2割減量することができます。資源については、しっかりと分別していただくことで減量に繋がると考えています。各家庭のごみの減量や資源の分別が進むと、今の袋よりサイズダウンすることができます。また、収集する際に持ち運ぶ負担が減ったり、晴丘センターへ搬入するまでに収集できる量が増えるため、収集時間も現在より早く収集できるメリットがあります。
3	ごみ減量について	組成調査の結果から見ると生ごみが、やはり多いので、生ごみだけ別で分別する方法は無いのか。地域でコンポスト等の設置できないか。	生ごみですが、現時点では分別していただいたとしても近隣で持ち込んで資源化できる施設がありません。コンポストの設置ですが、ご意見として参考とさせていただきます。
4	ごみ減量について	剪定くず専用の袋があると良い。	剪定くずに関しては減量の難しいごみと認識しています。ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
5	増額の値段設定について	値段を3倍にあげる理由は何か。	全国で可燃ごみ袋の値上げを実施した自治体のごみをどれだけ減量できたかを、ごみ袋の価格帯ごとに調査した研究と県内市町村の実績に基づき、もえるごみ袋Lサイズを1枚50円にすることで長久手市が目標としている15%以上のごみ減量効果が期待できるからです。目標を達成するために他の新たなごみ減量施策と合わせて実施していきたいと考えています。
6	増額による負担増について	もえるごみ袋の増額により、袋の値段が倍以上になり市民への負担が大きくなるがどのように考えているか。	これまでは、ごみ袋の価格が比較的安価だったため、ごみ量の多い人も少ない人も負担の大きさを実感することはありませんでしたが、増額することで、ごみを多く出す人の負担は大きく、ごみ減量に努力した人の負担は小さくなり、負担の公平性が図られます。また増収分でごみ収集サービスの拡充に充てることのできるため、市民へ還元できると考えています。
7	段階的な引き上げについて	もえるごみ袋の料金について、いきなり上げるのではなく段階的に上げられないのか。	ごみの抑制効果が薄れることから、段階的な引き上げは考えていません。
8	旧ごみ袋について	現在の指定ごみ袋は増額後も使用できるのか。	現在の指定ごみ袋（白色）は、増額後は使用できなくなりますので計画的にご購入ください。
9	旧ごみ袋について	増額後に、現在の指定ごみ袋（白色）が残ってしまったらどうすればいいのか。	増額後に残ってしまった現在の指定ごみ袋については、一定の交換期間を設け、新しい袋への交換を行います。交換対象は、未使用品に限ります。新旧で販売金額が異なりますので、例えば旧ごみ袋10枚に対して新ごみ袋3枚の交換を検討しています。交換期間等詳細については、改めて市広報等でお知らせします。

意見交換会の主な意見（南小校区）

No.	分類	内容	回答
10	旧ごみ袋について	増額すると聞いて、ごみ袋の買いためが起きるのではないか。	現在のごみ袋は増額後は使用できなくなります。増額に伴い、新しいごみ袋を作成しますが、新旧の区別がわかりやすいよう、現在の白色から色を変更する予定です。
11	ごみ袋の仕様について	もえるごみ袋のLサイズが45リットルの市町村もあるが、長久手市は45リットルにしないのか。	現在の長久手市のもえるごみ袋Lサイズの大きさは34リットルですが、45リットルに大きくすると、それだけごみを多く入れることができ、ごみ減量には逆効果となるため、袋のサイズを大きくする考えはありません。
12	ごみ袋の仕様について	もえるごみ袋が裂けやすく困っている。他の市町村よりも材質が悪いのではないか。裂けにくい丈夫な材質に変えてほしい。	ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのもの（低密度ポリエチレン）と伸びにくいタイプのもの（高密度ポリエチレン）があります。伸びやすいタイプのもものは重量のあるものだと伸びて持ち手部分がちぎれてしまう恐れがあります。伸びにくいタイプのもものは重量のあるものでも耐えられますが、紙の角などで裂けやすいです。双方にメリット・デメリットがありますが、現在のところ、レジ袋に代表されるように耐久性が高いため、伸びにくいタイプ（高密度ポリエチレン）のもので作っています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。
13	ごみ袋の仕様について	Sサイズのプラスチック製容器包装が欲しい。もえるごみ袋を増額するだけでなく、分別を徹底するために、プラスチック製容器包装の袋を減額するのは施策はどうか。	プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いため、検討していきます。手数料については、市場価格と相応しており減額する予定はありません。
14	ごみ袋の仕様について	ごみ袋に広告を付け、市の財源にできないか。	実際にごみ袋に広告を付けて、市の財源にしている市町があります。ご意見として参考とさせていただきます。
15	ごみ袋の仕様について	ごみ袋のサイズダウンを促すのであれば、もえるごみ袋のLサイズは廃止にしてはどうか。	ご意見として参考にさせていただきます。
16	資源化について	プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はしたら良いか。	プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取りきれないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。

## 意見交換会の主な意見（南小校区）

No.	分類	内容	回答
17	ごみの収集について	増額して、市民サービスに還元する中に収集時間を短縮するとあるが、収集時間が遅い理由を知りたい。収集の仕組みを変える等の他の施策はないのか。	1台の車両で収集できる量が決まっていますので、晴丘センターへの往復時間がかかります。各家庭から出されるごみの量が多いと、収集時間の遅延にも影響が生じます。ごみ収集の仕組みは、戸別回収と拠点回収のどちらかになりますが、今後は従来どおりの戸別回収を取り入れつつ、新たに拠点回収に協力していただける市民を募り、拠点回収も併せて取り入れていきたいと考えています。
18	ごみの減量が困難なものについて	減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。
19	ごみの減量が困難なものについて	減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
20	支援の有無について	生活保護世帯・低所得世帯への支援はあるのか。	ごみの減量が目的のため、市民の皆さんに平等にごみ減量にご協力いただきたいので、同額の手数料を負担していただきたいと考えています。
21	不法投棄について	増額すると不法投棄が増えるのではないのか。	先行してもえるごみ袋を値上げした知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、値上げが原因で不法投棄は増えていません。本市としては、現在も実施しているごみ集積所のパトロールを引き続き行っていきます。
22	不法投棄について	これまで不法投棄されているごみは拾って、自身で購入したごみ袋に入れて出していたが、今後お金を払ってまでごみを拾う気持ちになれなくなる。	不法投棄を拾った場合、環境課窓口で無料でお渡ししている地域清掃ごみ袋を使用して、ごみを出して下さい。